



みず・まち・自然 エンジョイ!米子

広報 よなご

1

2024
January
No.226



霊琴亭 (ヨンムジョン)



永郎湖 (ヨンナンホ)



雪岳山 (ソラクサン)

◎特集
姉妹都市

ソク チョ
束草



束草海水浴場



束草市街地

米子市長 伊木 隆司

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えられることと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、夏に「がいなロード」が開通し、山陰の玄関口である米子駅が新たな姿に生まれ変わり、また、第50回の節目を迎えた「米子がいな祭」が盛大に開催さ

れるなど、大いに盛り上がりました。

秋には、米子城跡から望む「ダイヤモンド大山」の観望会に過去最多の約2500人が集まり、また、尾高城跡について国の史跡指定に向けての答申が出されるなど、歴史や文化の面でも着実に施策を進展させることができました。

フレイル対策の本格実施や「歩いて楽しいまちづくり」の前進は、市民の皆様がいつまでも健康で文化的な暮らしをするために必要な施策であり、令和6年は、これをさらに進

めて一つでも多くの成果に結び付ける年にしたいと思います。

行財政改革においては、鞆町庁舎の供用開始などにより、鳥取県との連携強化による庁舎の合理化や利便性の向上を果たし、さらに東山の新しい体育館の整備も令和8年度末の完成を目指して、鳥取県と力を合わせて進めてまいります。

観光面では、皆生温泉の遊歩道の街灯リニューアルを進め、米子—ソウル便が復活する中、外国からのお客様を温かくお迎えする体制を充実

させていく所存です。

迎えました令和6年の「辰年」は、「大きく成長し、形がととのう年」と言われております。これまでの取り組みを着実に成果に結びつけ、米子市がさらなる発展を遂げるよう邁進していく所存ですので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願ひいたします。

結びに、今年一年の市民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

米子市議会議長 稲田 清

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より議会運営並びに活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ移行し、徐々にコロナ禍前の日常が戻ってまいりましたが、完全

新年のごあいさつ

に収束したとは言えず、誰もが日常生活の中に新しい習慣を取り入れる生活様式へと変化しています。また、ウクライナをはじめ混乱する国際情勢により、社会経済への先行きの不透明感が続いております。一方で、世界水泳選手権で入賞し、パリオリピックに出場内定した三上紗也可選手（飛板飛込）の活躍に期待がかかるほか、がいなロード（米子駅南北自由通路）が供用開始となり、新たな米子の玄関口が誕生しました。

併せて、その米子駅前通りで節目と

なる第50回の米子がいな祭が盛大に開催されるなど本市にとって明るいニュースもありました。

このような中、本市を取り巻く環境は、少子高齢化による生産年齢人口の減少、コロナ禍後の社会活動や地域経済の再構築への対応など、厳しい状況であるものの、市民の皆様と協働しながら、地域における様々な課題を解決していく必要があると考えております。

市議会においては、議会のDX化を含めた議会改革に継続して取り組

んでおり、まずはタブレット端末の導入を行いペーパーレス化を推進しているところです。今後も、市民の皆様のご代表機関であることを自覚し、わかりやすく開かれた議会を目指して、公平性や透明性のある議会運営に努めてまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 市政主要ニュース

昨年を振り返り、米子市政に関する主要ニュースを10項目選びました。

がいなロード開通と 米子駅新駅舎の開業

米子駅の南北をつなぐ自由通路「がいなロード」が7月に開通。米子駅新駅舎も同時に開業し、駅南広場も整備されるなど、山陰の玄関口である米子駅と周辺地域の利便性が高まりました。米子市のめざす「歩いて楽しいまち」に向け、大きな一歩となりました。



フレイル対策事業の本格的な全市展開

フレイルの予防・改善のため、65歳以上の対象者に「フレイル度チェック」を7月に開始。チェックは、同時に公開した米子市フレイル予防アプリからも回答でき、結果によって運動教室などの予防サービスにつなげるなど、フレイル対策を本格的に展開しました。

飛び込み・三上選手パリ五輪内定

7月に行われた世界水泳選手権で、飛び込みの三上紗也可選手が3m飛板飛込で7位に入賞し、パリ五輪出場が内定しました。10月のアジア大会でも3位に入るなど活躍され、米子市スポーツ協会からスポーツ栄誉賞が授与されました。



がいな祭 50周年

米子市の夏の風物詩・米子がいな祭が50周年を迎え、新しくなった米子駅周辺を会場に、盛大に開催されました。ステージには地元出身の豪華ゲストが出演し、祭のフィナーレを飾る大花火大会では祭史上最大の10,000発の花火が米子の夜空を彩りました。

米子空港からの国際定期便運航再開

コロナ禍により運休していた米子空港からの国際定期便2路線が運航を再開しました。ソウル便は10月から週3便、香港便は12月から冬季限定の週4便が運航し、山陰のインバウンド需要に期待が高まります。

都市整備部が鞆町庁舎に 県税事務所が市役所に

～縣市連携による新たな行政体制～

鳥取県西部総合事務所3号館・米子市役所鞆町庁舎が完成し、県と市の類似業務を行う部署を同じ庁舎に配置した県内初の合同庁舎が10月にオープンしました。また、市役所本庁舎には西部県税事務所が移転し、縣市連携による新たな行政体制が始まりました。

令和4年度のふるさと納税額 中国地方1位・5年連続県内トップ

米子市の令和4年度のふるさと納税の寄付額が13億7,350万6,000円となり、中国地方で1位に輝きました。県内では5年連続トップとなり、地元産品を中心とした豊富な返礼品が人気を集めています。

尾高城跡が国史跡指定へ

尾高城跡の本丸と二の丸の発掘調査が進み、土塁の城から石垣の城への変遷がわかる発見がありました。当時の築城の変化を知る貴重な資料として評価され、国史跡に指定するよう答申が10月に出されました。

皆生温泉エリアでの新たな温泉街づくりの 取り組みがグッドデザイン賞受賞

皆生温泉エリア経営実行委員会による皆生温泉エリアの魅力向上に向けた取り組みが、10月にグッドデザイン賞を受賞しました。まちの回遊性を高める社会実験「ぐるぐるかいけ」や海沿いの遊歩道に設置された共用空間などが評価されました。

米子城跡・ダイヤモンド大山観望会に 1日で約2,500人登城

大山山頂から昇る朝日・ダイヤモンド大山の観望会が10月21日・22日に米子城跡で催されました。1日目はあいにくの天気となりましたが、2日目は約2,500人が登城し、輝く朝日を米子城跡から望みました。

